



のびのび若っ子

わっしょい わっしょい

校長 池田 千穂

夏休みが終わり、子ども達の元気な声とあふれる笑顔が学校に戻りました。台風の影響で天候が不安定なうえ、大変に蒸し暑い日々でした。ご家庭でのお子さんの様子はいかがでしたでしょうか。まだまだ、暑い日が続きます。学校でも十分に注意してまいります。ご家庭や地域での協力も引き続きよろしくお願いいたします。

さて、この夏休みは各地で伝統の祭りが復活し、多くの観光客が訪れる様子がメディアで報じられていました。若葉台の夏祭りも今年度から「子ども神輿」が復活ということで、本校の子ども達も大活躍でした。汗だくになりながら、たくさん子ども達が神輿を担いで商店街を練り歩きました。地域の皆様も、保護者様も、暑い中たいへんだったと思います。でも子ども達と皆様の笑顔が輝いていて印象的でした。

神輿は神様が乗られている御輿を人々が担いで神社の近隣地域を回ります。その際に災いを取り除き、豊作の願いを聞き入れるために行ったそうです。輿の重さは重いもので2トンを超えています。重い神輿を担ぐには、多くの担ぎ手が必要です。そこで、たくさんの担ぎ手が必然的に協力することで、地域のコミュニティの形成が図られるそうです。若葉台の子ども達も神輿を担ぐことで地域の皆様や他学年の友達と今まで以上に関わることができたと思います。

そんな神輿ですが、掛け声は「わっしょい」です。「わっしょい」の語源は「和を背負う」という言葉からきています。背負う「和」は「和みの心」という日本人が大切にしていることとも、「仲良くする」という意味の和とも言われています。そして、「和」は日本そのものを指すこともあるそうです。「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」そんな横浜教育ビジョンを思い出しました。私たち教職員一同、未来を創り担う子ども達を保護者、地域の皆様と一緒に育てていきたいと思っております。どうぞ今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

「わっしょい わっしょい」の声が若葉台の街に力強く響いた暑い祭りの1日でした。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切に作る心を育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』